



島根県の経済情勢

令和 7 年 11 月 6 日

財務省中国財務局
松江財務事務所

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 飯野
電話 (0852) 21-5231 (内線 4630)



ざいちゅう

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している」

項 目	前回（7 年 7 月判断）	今回（7 年 10 月判断）	前回 比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

（注）7 年 10 月判断は、前回 7 年 7 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、横ばいの状況にある。

【各項目の判断】

項 目	前回（7 年 7 月判断）	今回（7 年 10 月判断）	前回 比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	
生産活動	弱含んでいる	横ばいの状況にある	
雇用情勢	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	
設備投資	7 年度は前年度を上回る見込み	7 年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	7 年度は減益見込み	7 年度は減益見込み	
企業の 景況感	「上昇」超に転じている	「上昇」超幅が縮小している	
住宅建設	前年を下回る	前年を上回る	
公共事業	前年度を下回る	前年度を下回る	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が好転する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

家電大型専門店販売は、エアコンの需要が一服したことなどから、前年を下回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、法規対応に伴う車両供給の遅れなどから、前年を下回っている。

一方、スーパー販売は、高単価で推移している米など食料品が堅調であり、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、UV ケア商品などが好調であり、前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、アイスクリームなどが好調であり、前年を上回っている。ホームセンター販売は、概ね前年並みとなっている。

また、主要観光施設及び主要温泉地の入込客数は、大阪・関西万博の開催に伴う人流偏在の影響が続く中、松江水郷祭が盛況であったことなどから、上向いている。

（主なヒアリング結果）

- 初夏の暑さが厳しかったことなどから、エアコン需要の先食いが生じ、例年この時期に伸びる売上げが低調。（家電大型専門店）
- 法規対応のため、複数の既存モデルの生産が停止しており、その影響で販売店への車両供給に遅れが生じ、登録台数にも影響が出ている。なお、9 月以降は主要モデルの供給が順次再開している。（自動車販売）
- 単価が高水準にある米の売上げが寄与し、食料品は堅調に推移。なお、特売日にはまとめ買い需要などにより売上げが大きく伸びる傾向にあり、消費者の節約志向がうかがえる。（スーパー）
- 例年に比べ梅雨明けが早く、日差しの強い日が多かったことから、UV ケア商品が好調。（ドラッグストア）
- 猛暑日が続いたことでアイスクリームや飲料水などが引き続き好調。足下では、徐々に涼しくなってきた影響で、おでんなども売れ始めている。（コンビニエンスストア）
- 大阪・関西万博や客室単価の引き上げなどの影響がある中でも、松江水郷祭が盛況で、客室稼働率は好調であった。（宿泊）
- 近隣にある観光地が大いに賑わっていることに連動して、平日を含めて来店客数が伸びており、繁忙を極めている。今年に入って値上げもしたが、顧客から不満の声は聞かれていない。（飲食）

■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

輸送機械は、中国による輸出規制の影響などから、減少している。窯業・土石、木材・木製品、汎用・生産用・業務用機械は、概ね横ばいとなっている。

一方、電気機械・情報通信機械は、端末のリプレイス需要が堅調なことなどから、増加している。鉄鋼・非鉄金属は、自動車関連の製造設備向けの受注があることなどから、上向いている。電子部品・デバイスは、民生品向け製品の需要が好調なことなどから、上向いている。

- 主要取引先の工場稼働停止の反動で、増産に着手したものの、中国によるレアアース輸出規制の影響により、当初の想定ほど増産できなかった。（輸送機械）
- 民間工事向けの建築資材の受注が好調である一方、県内で主だった公共工事が少ないことから、土木資材の受注・生産量は引き続き低調。（窯業・土石）
- 酷暑の影響に加え、6 月から職場における熱中症対策が義務化されたことを背景に、従業員の暑熱対策に資する製品の需要が伸びており、生産・出荷台数が増加している。（汎用・生産用・業務用機械）
- 端末のリプレイス需要により、法人向けの生産は引き続き堅調。（電気機械・情報通信機械）
- 自動車関連の製造設備向けは、低調な生産が続いているものの、スポット受注があることなどから、上向いている。（鉄鋼・非鉄金属）
- 民生品向けの需要は現状想定通りに推移しているが、ピークがやや前倒しで訪れている。（電子部品・デバイス）

■ 雇用情勢 「横ばいの状況にある」

有効求人倍率は、概ね横ばいで推移している。また、法人企業景気予測調査（7 年 7-9 月期）の従業員数判断 BSI をみると、「不足気味」超幅は拡大しており、人手不足の傾向が続いている。

- 欠員補充を目的とした短期勤務の求人が増加しており、長期勤務を希望する求職者との間でニーズのミスマッチが生じている。（人材派遣）
- 人員補充を継続的に実施している中、最近では、社員による紹介を通じたりファラル採用の実績が増えている。求職者にとっても、身近な人から職務内容や職場の雰囲気などを事前に把握できるため、入社後も安心して勤務できる。（鉄鋼）
- 若年層のパート・アルバイトが確保できない。加えて、最低賃金の上昇により、扶養控除の範囲内での就労を希望するパート社員が、年末にかけて勤務時間を調整する可能性が高く、今後更に人手不足が深刻化することを懸念している。（小売）

■ 設備投資 「7年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年7-9月期

- 製造業は、生産用機械などで減少するものの、情報通信機械や鉄鋼などで増加することから、全体では増見込みとなっている。
- 非製造業は、金融、保険などで増加するものの、電気や卸売などで減少することから、全体では減少見込みとなっている。

- 今後成長が見込まれる分野における事業拡大に向けて、新型設備の導入に加え、当該設備の設置に必要な既存建物の増設を計画している。(鉄鋼)
- 前年度に実施した展示施設の改装に伴う反動減。今年度は、店舗移転を計画しているが、規模は限定的。(卸売)

■ 企業収益 「7年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年7-9月期

- 製造業は、生産用機械などで増益となるものの、情報通信機械や鉄鋼などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業は、小売などで増益となるものの、卸売や農林水産などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超幅が縮小している」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年7-9月期

- 企業の景況判断 BSI は、「上昇」超幅が縮小している。なお、先行きは、「上昇」超幅が拡大する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、持家が減少しているものの、貸家などが増加していることから、前年を上回っている。

■ 公共事業 「前年度を下回る」

- 公共工事前払金保証請負金額(年度累計)でみると、国などで増加しているものの、市町村や県などで減少していることから、前年度を下回っている。

島根県の経済情勢

資料編

目次	ページ
1. 個人消費 -----	1
2. 生産活動 -----	3
3. 雇用情勢 -----	4
4. 設備投資 -----	5
5. 企業収益 -----	5
6. 企業の景況感 -----	6
7. 住宅建設 -----	6
8. 公共事業 -----	6

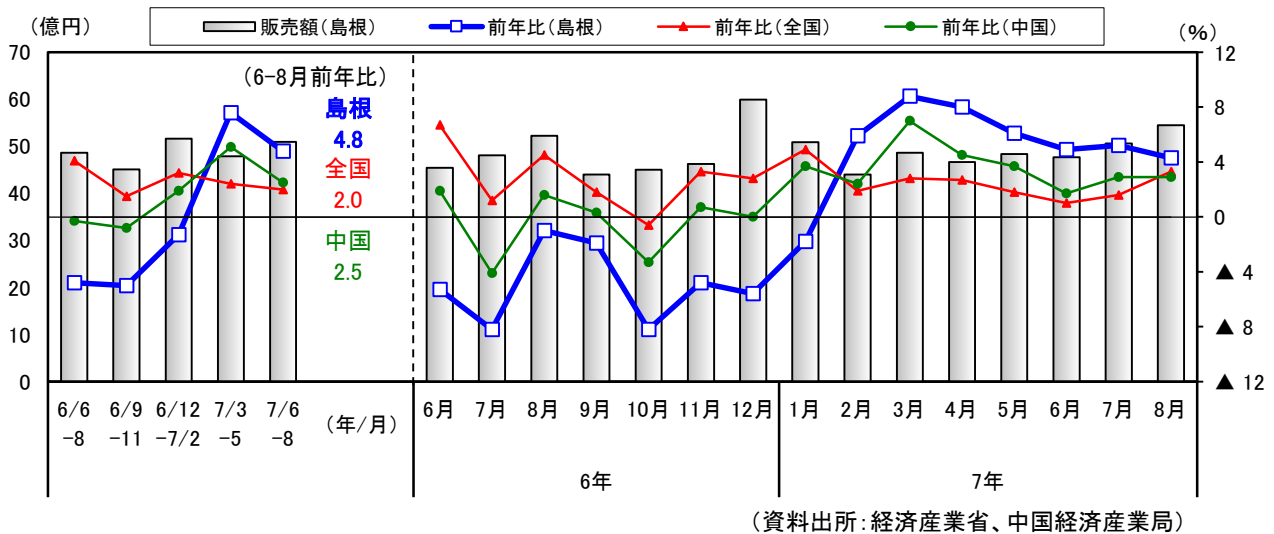
※ 本資料のグラフは各機関の公表数値を基に作成している。なお、公表されていない一部項目の数値については、当所で算出している。

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 飯野
電話 (0852)21-5231(内線 4630)

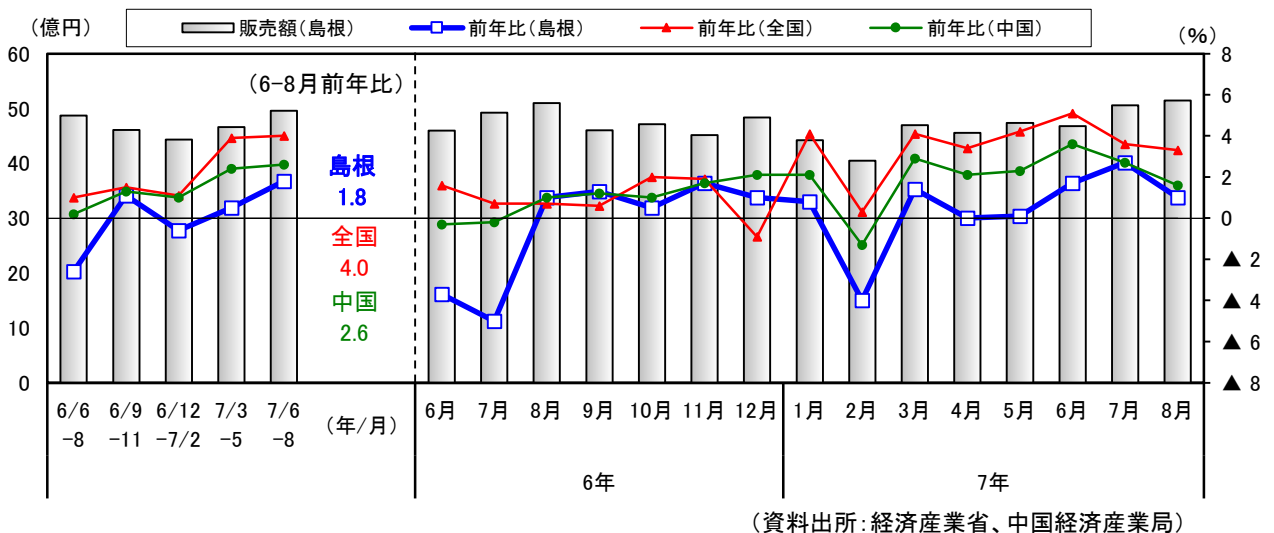
1. 個人消費 持ち直している

(注) (1)～(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示

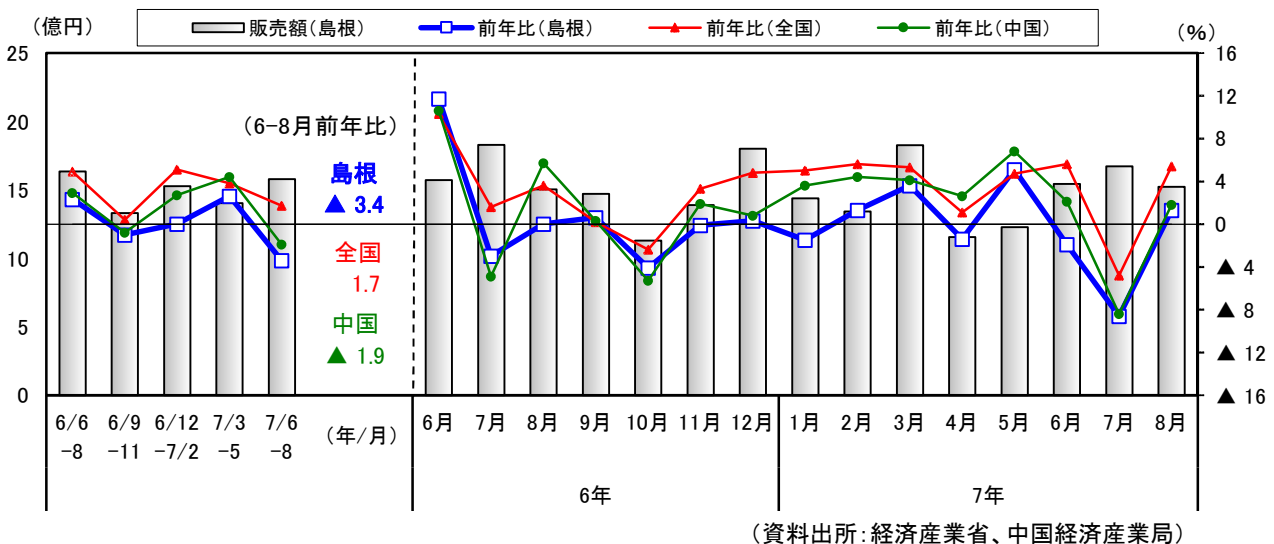
(1)百貨店・スーパー販売額(全店舗)



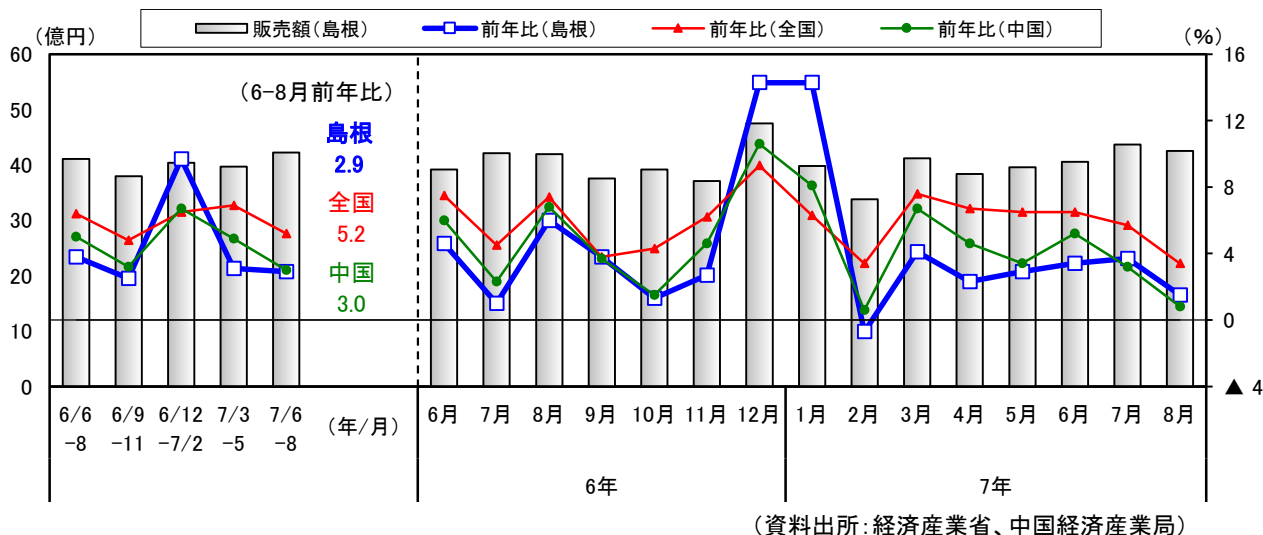
(2)コンビニエンスストア販売額(全店舗)



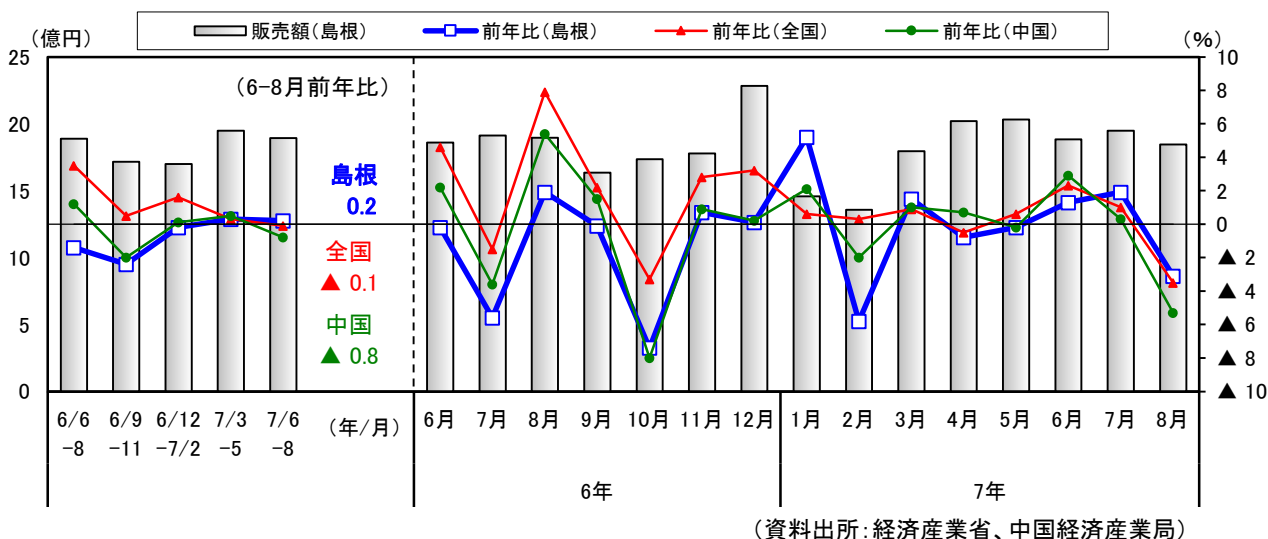
(3)家電大型専門店販売額(全店舗)



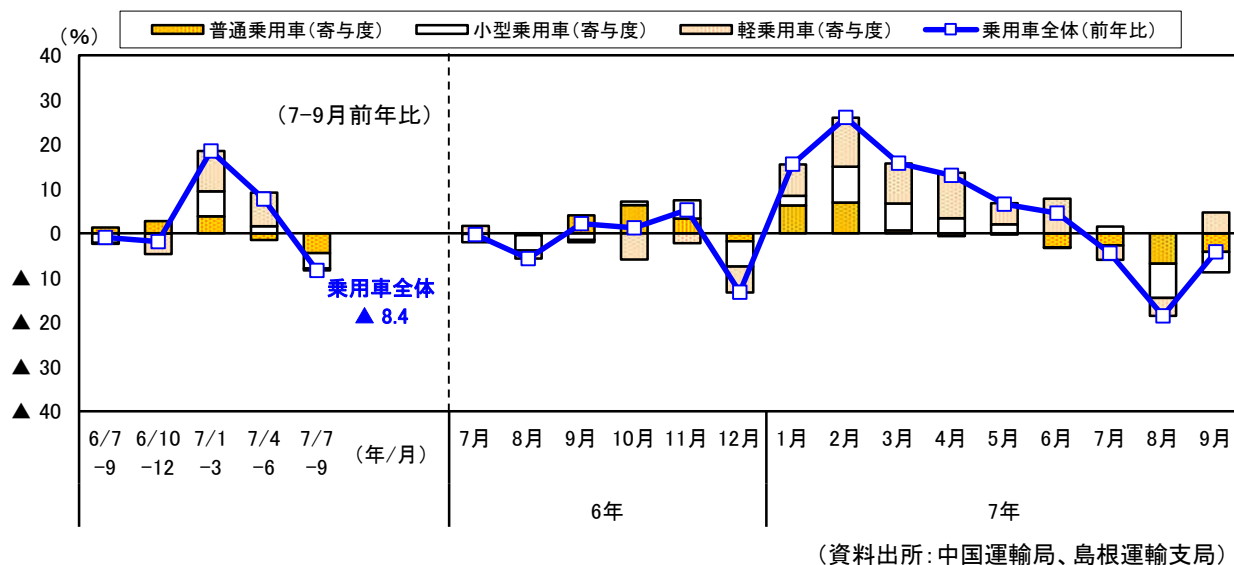
(4)ドラッグストア販売額(全店舗)



(5)ホームセンター販売額(全店舗)



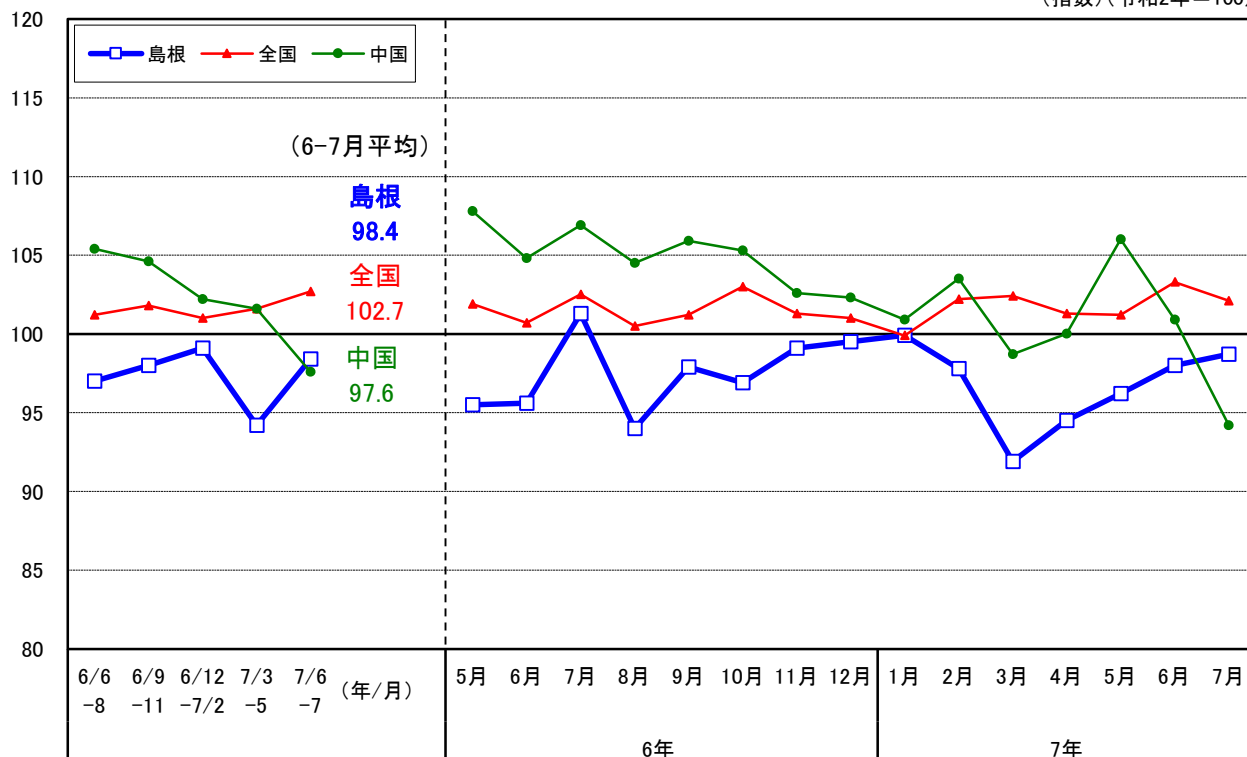
(6)乗用車販売(新車登録・届出台数)



2. 生産活動 横ばいの状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

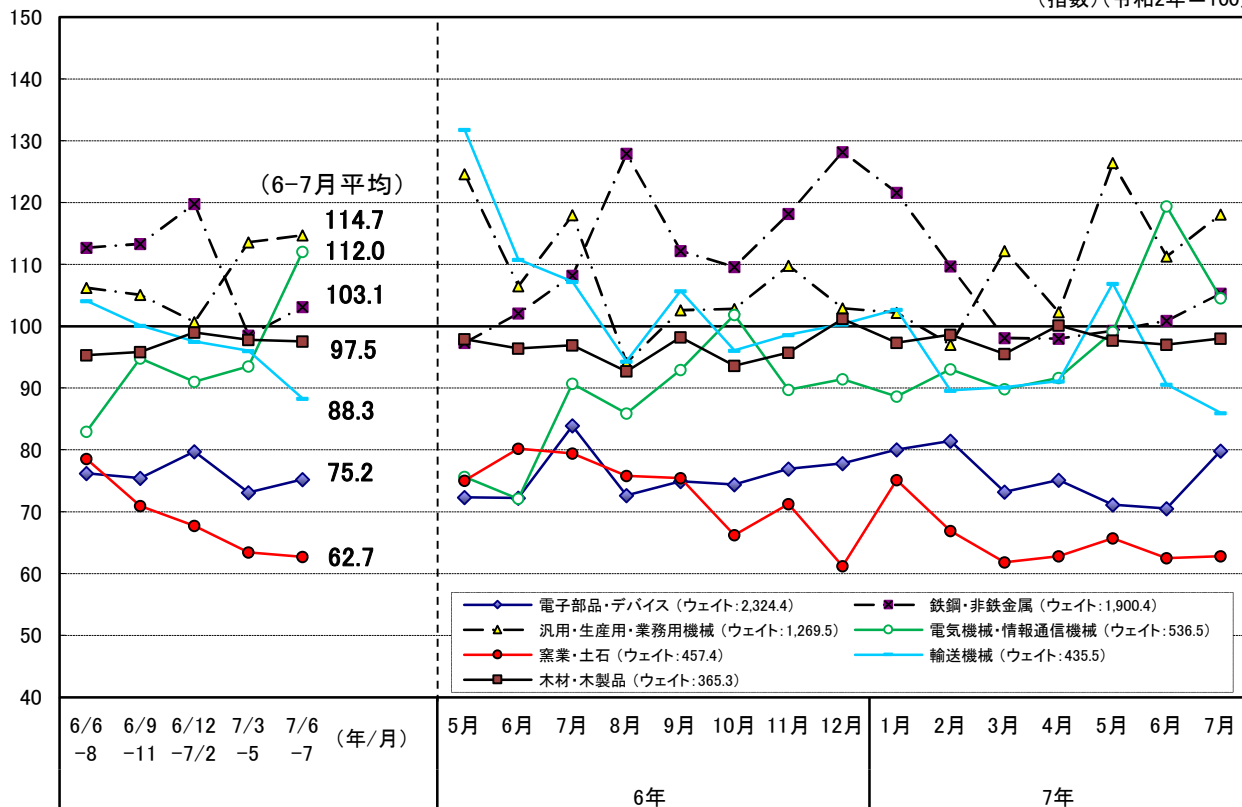
(指数)(令和2年=100)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局、島根県統計調査課)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数)(令和2年=100)

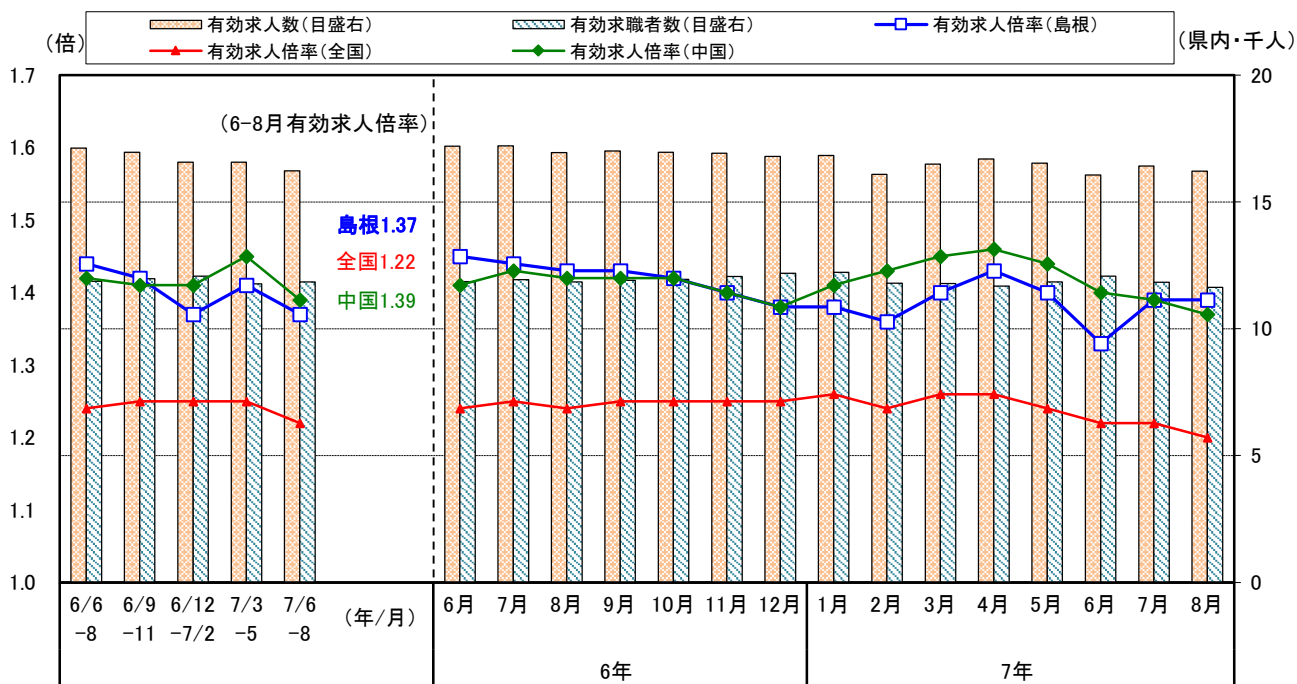


(資料出所: 島根県統計調査課)

3. 雇用情勢 横ばいの状況にある

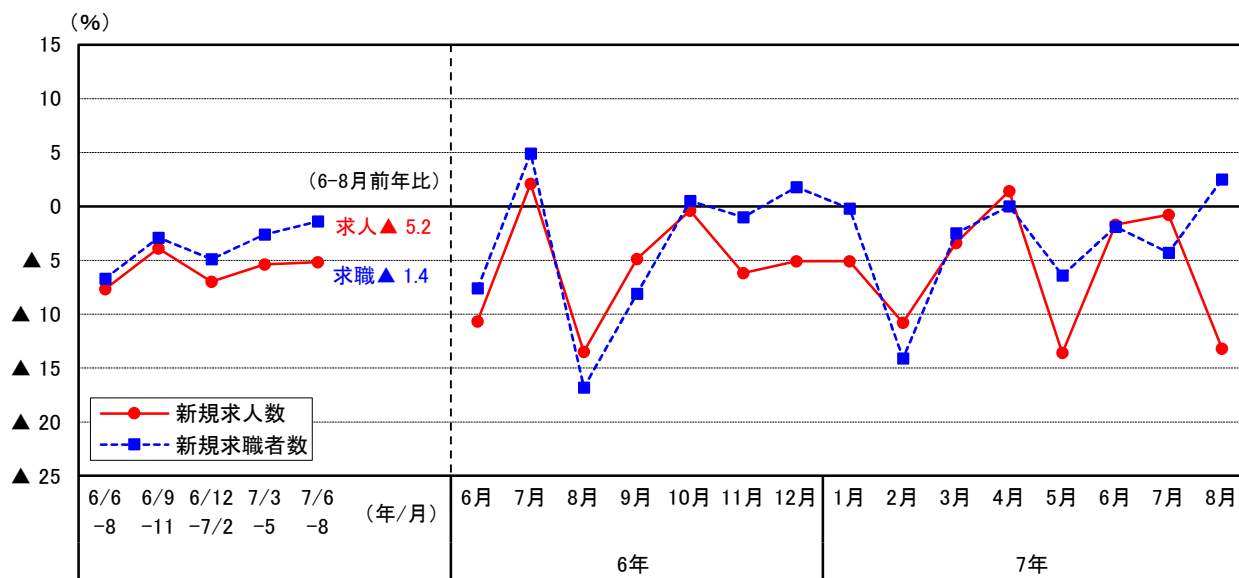
(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人数と有効求職者数は、1月あたりの平均を表示

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所: 厚生労働省、島根労働局)

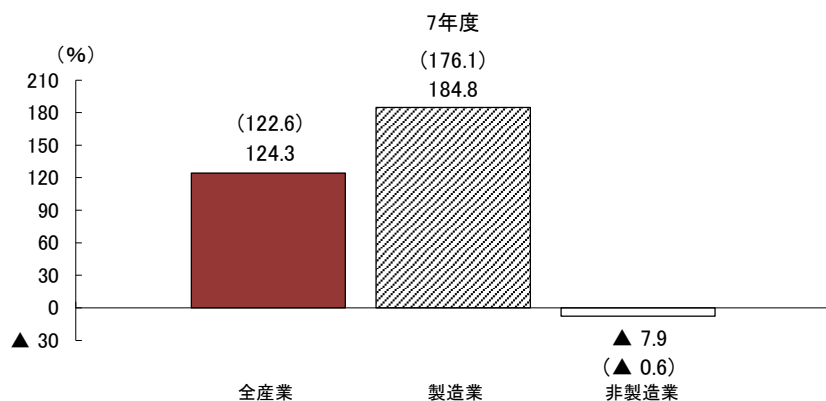
(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所: 島根労働局)

4. 設備投資 7年度は前年度を上回る見込み

設備投資の前年度比増減率

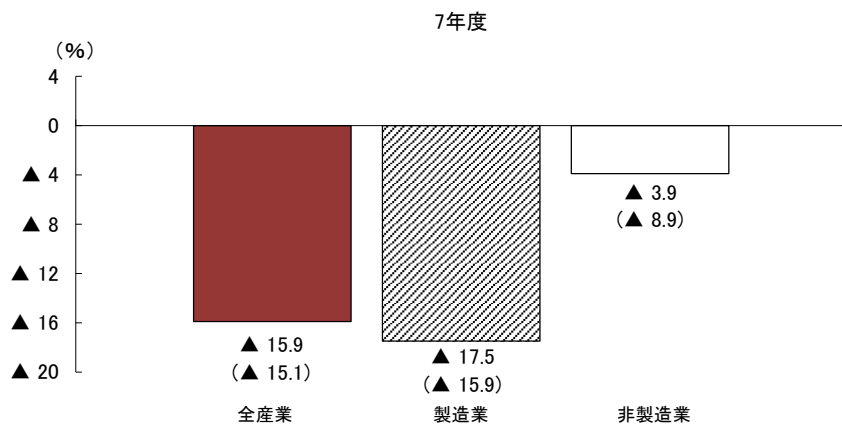


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(7年7-9月期)結果
 2. 土地購入額を除き、ソフトウェア投資額を含む。
 3. ()書きは前回(7年4-6月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

5. 企業収益 7年度は減益見込み

経常利益の前年度比増減率

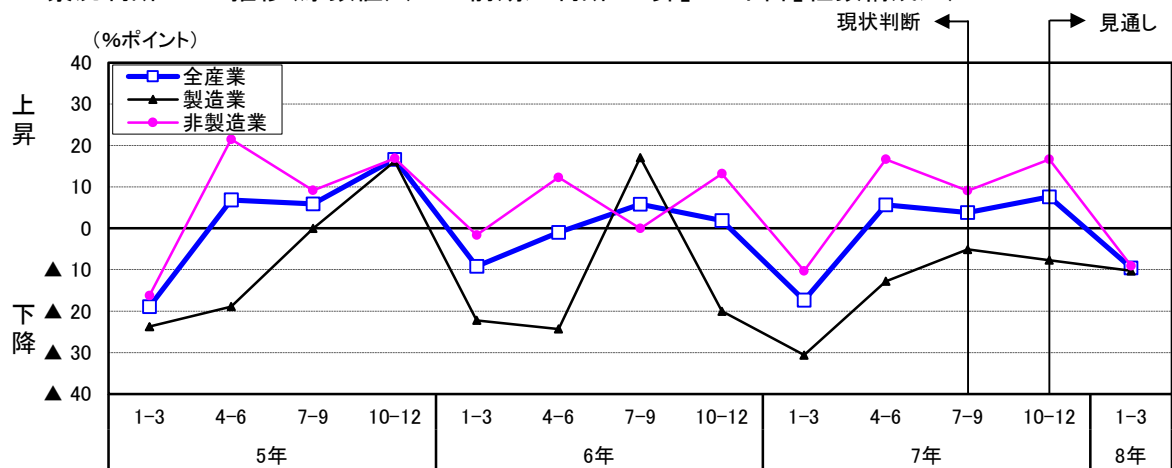


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(7年7-9月期)結果
 2. 電気・ガス・水道業及び金融業、保険業を除く。
 3. ()書きは前回(7年4-6月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

6. 企業の景況感 「上昇」超幅が縮小している

景況判断BSIの推移(原数値)(BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

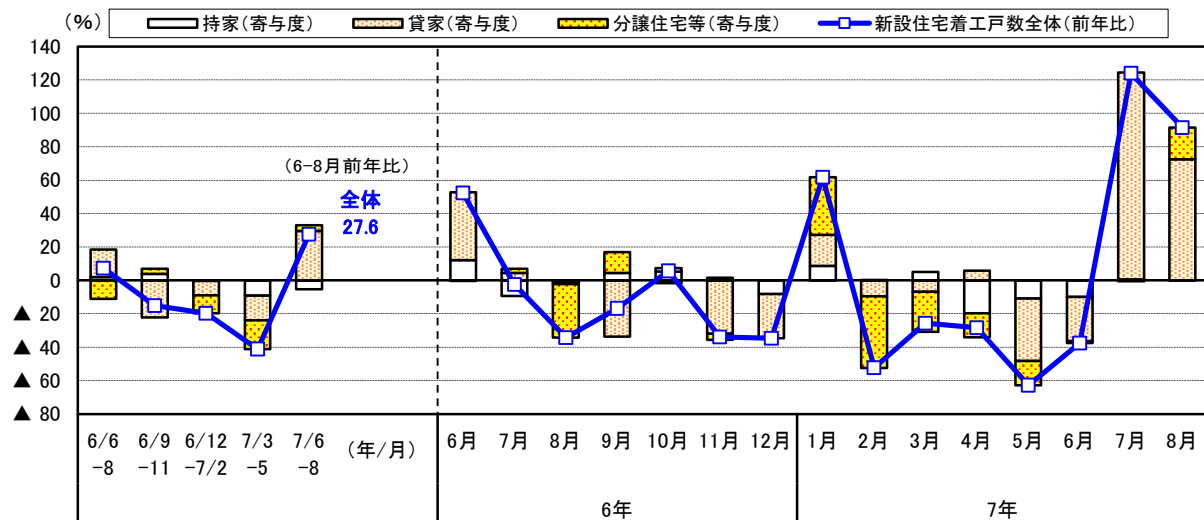


(注) 法人企業景気予測調査(7年7-9月期)結果

(資料出所: 松江財務事務所)

7. 住宅建設 前年を上回る

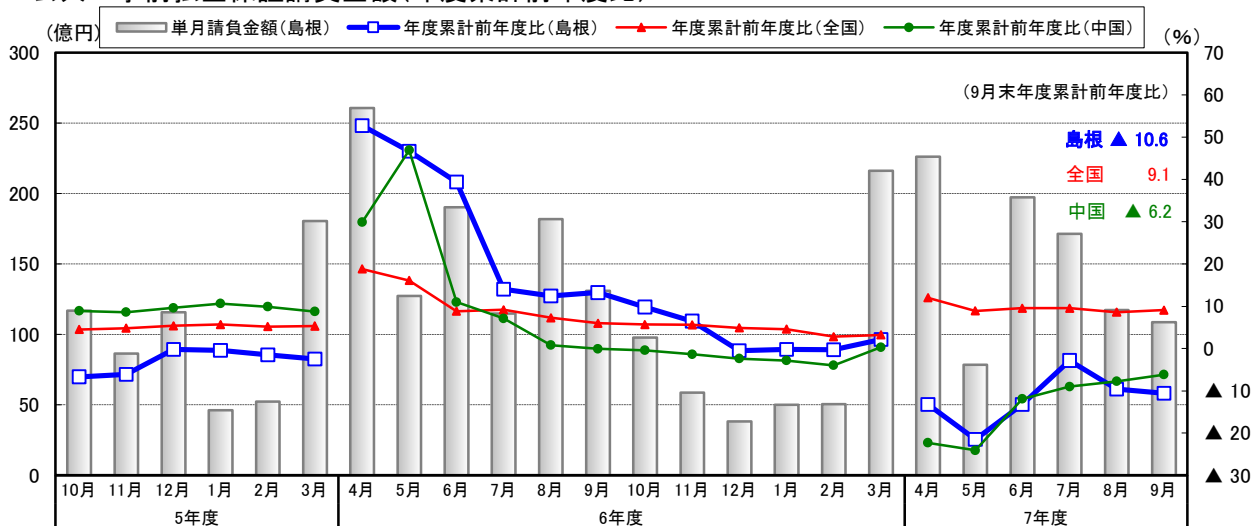
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 公共事業 前年度を下回る

公共工事前払金保証請負金額(年度累計前年度比)



(資料出所: 各建設業保証(株))